

評議員，理事，監事懇談会記録

日時 昭和54年12月25日（火） 17.30～19.00

場所 竹橋会館

出席者 評議員：有住，磯野，大田，窪田，小林，関原，高橋

常任理事：岸保，小平，浅井，内田，植村，奥田，神山，関根，新田，松本，増田，山下

監事：当舍

懇談事項

岸保理事長あいさつ

本日は、年末何かとご繁忙のところ、ご出席下さいまして誠にありがとうございます。学会活動の長期的展望についてご意見をお伺いしたいと思います。本日は、とくに財政のことと昭和57年に迎える100周年記念事業のことを話題に用意しました。お手元に資料をさしあげましたが、皆様から忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

1. 財政の見通しについて

関根理事から次のとおり説明が行なわれた。(1) 会費は54年1月から値上げが行なわれた。(2)

本年1月に行なわれた懇談会の際に申し上げた会員増強については、地方官署、大学等の協力もあって

260名の増加があり、現在4,175名となった。また、賛助会員も理事の骨折りにより6社増加し現在41社となった。(3) 機関誌は、順調に発刊されており、とくに収入増が見込まれる「気象研究ノート」も今後相次いで刊行される予定。などにより収入面での努力を払ってきたが、支出の面で、(4) 100周年記念事業遂行のための準備資金として200万円ずつ積み立てている。(5) 物価高騰、とくに印刷費等の支出増加などにより財政が圧迫されてきた。

2. 100周年記念事業について

岸保理事長から資料にもとづき事業計画(案)が説明された。

以上2件について、各評議員からいろいろと建設的な意見が出され、とくに記念講演会をどのような形で実行するかが中心となったが、和やかなうちに懇談会を終了した。主な意見は次のとおりであった。(1) 会費の値上げはこの際やむを得ない。(2) 学会の収入増になるようなテキストブックを作ってはどうか。これについては、「教育と普及」で数名の方に執筆を依頼して目下進捗しているとの説明で了承された。(3) 記念講演会について早く準備を進めるべきである。

事務局からのお願い

今年は、会員名簿を5月号に添付することになるので、4月1日付けで転・退職、その他住居を移動される方は、なるべく早く機関誌送り先の新住所(または所属官署)をお知らせ下さい。